

薫風の季節と共に日本コンテンツ振興機構も早いもので設立一周年を迎えました。

当機構に対し日頃より御指導頂いております皆様に心より御礼を申し上げます。

また会員、賛助会の皆様のご協力に感謝申し上げます。

お陰様で会員・賛助会員も増えて、機構の活動も徐々に拡がりを見せています。

当機構では昨年の設立以来、日本のソフト産業の発展に不可欠な「コンテンツシティー構想」を掲げ、経済産業省や関係自治体との間でその実現に向けた陳情や話し合いを重ねると共に、昨年9月からは経済産業省の「CG・VFX共通基盤検討委員会」に参画し、半年間に亘り実証実験を繰り返すなど作業を進め先月報告書を提出いたしました。

報告書の要点は当機構理事で技術委員長の白組システム部長・鈴木勝氏よりこれまでの会報にて報告済みですが、その内容は経済産業省からも高く評価され、近々、経済産業省から正式に公表されます（於：経済産業省ホームページ）。



一方でCG・VFX分野の技術の進歩が著しく、中でもクラウド技術の進展は機構が行った経産省検討委員会での実証実験などでも如実になりました。

この結果、今月の機構の運営会議において「コンテンツシティー構想」も一部の手直しが必要との認識に至りました。

現在、技術委員長、事業委員長を中心に構想の見直し作業に入っております。

5月の定例総会までに実情に合った新しい骨太の「構想」を取りまとめ、各位に提示させていただく考えです。

今後とも将来を見通しつつ現実を冷静に見つめ、技術の進展に即応して柔軟且つ真摯に対応してまいりますので、御理解いただきますようお願い致します。

先の総選挙の結果、自民党が政権を奪還し、安倍総理が二度目の政権を担うことになりました。安倍政権の政策の中心である所謂「アベノミクス」の影響は、円安と株価上昇に顕著に表れ、日本経済もデフレの長いトンネルから抜け出そうとしています。

機構が来月打ち出す新しい「コンテンツシティー構想」は、日本のソフト産業の維持発展と国際競争力の向上に不可欠で、「アベノミクス」の3本目の矢となる「成長戦略」にも大きく資するものと考えています。

自民党の高村正彦副総裁をはじめ顧問の皆様の御助力を頂きながら、構想実現に向けて役員・会員一同、今年もひた向きに取り組んでまいります。

今後とも当機構に対して御指導、御鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

理事長 秋田 敏彰

技術委員会
技術委員長：鈴木

■ 気になるニュース（技術委員会）

#1. 日本マイクロソフト、クラウドサービス33%値下げ アマゾン追撃
http://www.nikkei.com/article/DGXNASDD170K4_X10C13A4TJ0000/

#2. 結局のところ RDP 7.1をRDP 8.0に更新していいの？
<http://www.computerworld.jp/blogs/d/205471>

Windows Remote Desktopの8.0アップグレードが出ました。
互換性などの課題もありますが、RDP 8.0はPCoIPと同じくUDPベースになったそうです。

#3. Intech SpeedTools
<http://www.speedtools2.com/PrdInfo.html>

HDDなどのベンチマークを計測するソフト
PDFで書き出せたり、WinとMac両方あるのが良さげなところですよ。

#4. Silverstackで差分コピー
<http://mount-q.com/yamaqblog/?p=16428>

ファイルのコピーでCheckSUMできるものとしては、ProMediaToolsや、Adobe Premiere Proに付いてくるPreludeでもできますね。通常のコピーよりも時間はかかりますがマスターの管理には是非活用するといいいですね。

#5. So-net「NURO」の最大2Gbpsサービスを法人にも、固定IP・SLA付きプラン用意
http://m.internet.watch.impress.co.jp/docs/news/20130416_596033.html

ONUまでは2GbpsでONUから、固定IPに対応する1Gbpsと動的IPの1Gbpsに分割される仕組みだそうです。固定IPもIP3でIPが2つまで使えるのも興味深いですね。

#6. インテル、双方向20Gbpsの次世代Thunderboltをデモ。Haswell世代のRedwood Ridgeコントローラも発表
<http://japanese.engadget.com/2013/04/09/20gbps-thunderbolt-haswell-redwood-ridge/>

#7. 富士フイルム、複数機器の色管理をサポートする新システム「IS-mini」発表
<http://news.mynavi.jp/news/2013/04/09/122/index.html>

#8. 720p 120fps clip from GoPro Hero3 Black not recognised by Premiere Pro CS6
<http://forums.adobe.com/message/5068422>

#10. Windows Update後にエラーが発生する問題でMicrosoftが削除呼びかけ
<http://gigazine.net/news/20130415-windows-update-28223324-uninstall/>

KB2839011のアップデートを削除した方がいいとのこと。

会員紹介：株式会社キュー・テック

設立経緯

1981年、パイオニア株式会社は、レーザーディスクの商品化にあたりレーザーディスク株式会社を設立しました。当社はレーザーディスク社設立と同時に設置されたスタジオとして事業を開始しました。当時のポストプロがテレビ放送を主な目的にしていたのに対して、当社は映像ソフトを収集するマニア向け映像ソフト制作を目的に事業を展開しました。

2年遅れて商品化されたVHDとの規格競争では13対1と圧倒的に不利な状況でありましたが、高画質高音質がユーザーから支持され勝利することができました。この時に培った高画質高音質へのこだわりや品質管理ノウハウが当社の事業基盤となっています。

ポストプロから総合プロダクションへ

1989年（平成元年）、パイオニアLDC社（レーザーディスク社より名称変更）より分離独立し、キュー・テックとしてポストプロダクション事業を開始しました。2004年にパイオニアからMBOにて独立、2005年メモリーテック株式会社の子会社となり現在に至ります。

アニメが国内映像ソフト売上のトップジャンルとなる1994年頃からアニメ事業を強化し、

2004年 杉並区でのアニメ向けポストプロ事業を開始、2007年にアニメ撮影会社デコロコ設立、2009年ゴンゾよりデジタル部門の事業譲渡を受け、株式会社グラフィニカを設立、2010年にアニメ関連事業を統合した杉並クリエイティブセンターを完成させました。

グラフィニカ設立により、ポストプロの枠を超えたデジタルプロダクション事業を開始しました。

2011年CGスタジオの株式会社バンブーマウンテン（福岡）を子会社化し、ゲーム・遊技機向け映像制作事業を強化しています。2013年4月、札幌市にグラフィニカ札幌スタジオを開設し、東京・福岡・札幌の3拠点でのコンテンツ制作体制となりました。

CPO-JP参加につきましては、映像制作産業発展への課題を共有し、皆様と一緒に日本の映像産業に明るい未来を描ければと願っております。

今後ともよろしくご教示くださいますようお願い申し上げます。

株式会社 キュー・テック 常務取締役執行役員

株式会社 グラフィニカ 代表取締役

株式会社 バンブーマウンテン 取締役

伊藤 暢啓



ご意見・ご感想は下記の事務所までご連絡ください。

編集責任者 専務理事 小山 昌孝

日本コンテンツ振興機構 吉祥寺オフィス
〒180-0003 東京都 武蔵野市 吉祥寺南町 4-4-13

TEL : 0422-35-3305
FAX : 0422-70-3032